

代表質問

協働のまちづくり推進条例を活かした市民との協働のまちづくりを

市長3期12年に及ぶ
市政運営の想い

問 市長は、11月の次期市長選挙に出馬されない考えを明らかにされたが、3期12年に及ぶ市政運営の想いを聞きたい。

答 この12年間、さまざまな取り組みを行ってきた。

その中でも特に思い出深いものの、1点目は聖域なき行財政改革を断行し、財政再建に取り組んだこと。2点目は三大プロジェクトの完成。3点目は三池炭鉱関連施設の世界遺産登録。まだ、一部課題を残しているが、現在の心境としては、多くの皆様のご支援・ご協力に心から感謝の気持ちを表したい。

(仮称)第5次総合計画の
新たな課題への対応

問 (仮称)第5次総合計画については、構成の見直しを図り、まちづくり総合プランとアクションプログラムとされているが、まちづくり総合プランにおける新たな課題を聞きたい。

答 今後のまちづくりにおけ

る最重要課題は、人口減少、少子高齢化に対応することだと思う。

そこで、子育て世代などを含めた若い人たちの希望をかなえる施

策と雇用、シティープロモーションの推進、大牟田への移住施策などが考えられる。

大牟田市協働のまちづくり
推進条例の目的と趣旨

問 協働のまちづくり推進条例の制定に向けては、市民憲章を踏まえ、基本方針や市民活動促進指針などの内容を網羅した条例制定に向け、市民検討会を行い、報告書がまとめられ条例原案とされた。

その原案は、策定審議会で審議され「おおむね妥当」との答申が示されたが、大牟田市協働のまちづくり推進条例の目的と趣旨を聞きたい。

答 本市では、協働のまちづくりの機運が根づいてきているこの時期を捉え、協働のまちづくりに関する考え方や目指す方向性の共通化と自助、共助、公助の観点からの市民や行政、関係団体の役割、仕組みなど協働のまちづくりに

関する基本理念やルールを条例という形で明確にし、市民全体で共有することにより、これを契機になお一層協働のまちづくりを推進していくことを趣旨・目的にしている。

消防行政の推進について

問 筑後地域消防通信指令業務の共同運用は、11月12日から本市は開始されるが、共同運用の効果と課題を聞きたい。

答 指令業務の共同運用については、高度化する消防行政に対応するため、住民サービスの向上と行財政上の効率化の観点から、本市を含む筑後地域8消防本部による通信指令に関する業務のみを共同で管理する整備を進めている。

効果としては、住民サービスの向上と行財政の効率化であり、想定される全ての課題について抽出し、確実な対応を行い円滑な業務開始に向けた取り組みを進めていきたい。

三池海水浴場の今後の対応

問 現在、明るい町づくり推進協議会主催の清掃活動が毎年行われており、参加者から、海水浴場再開要望の声が聞かれる。三池海水浴場の今後の対応について聞きたい。

答 海水浴場としての再開は難しいものがあるが、有明海に接する親水空間として、さらなる活用が図られるよう、関係機関と協力連携し取り組みたい。